

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

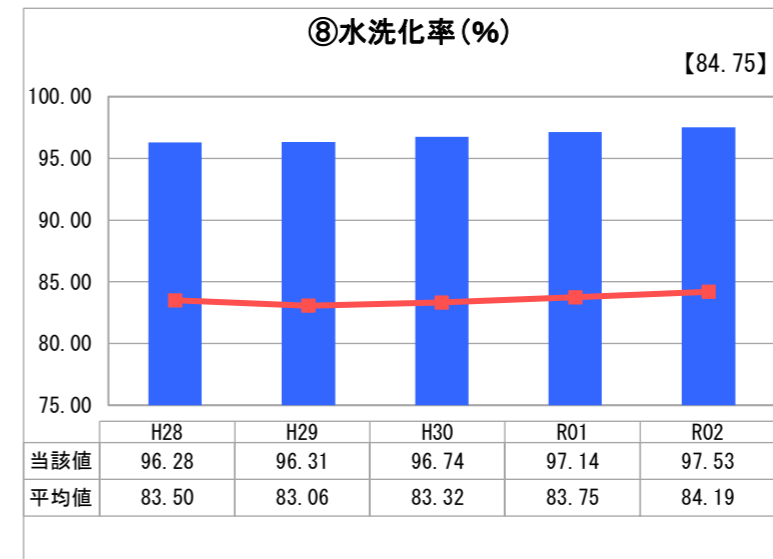
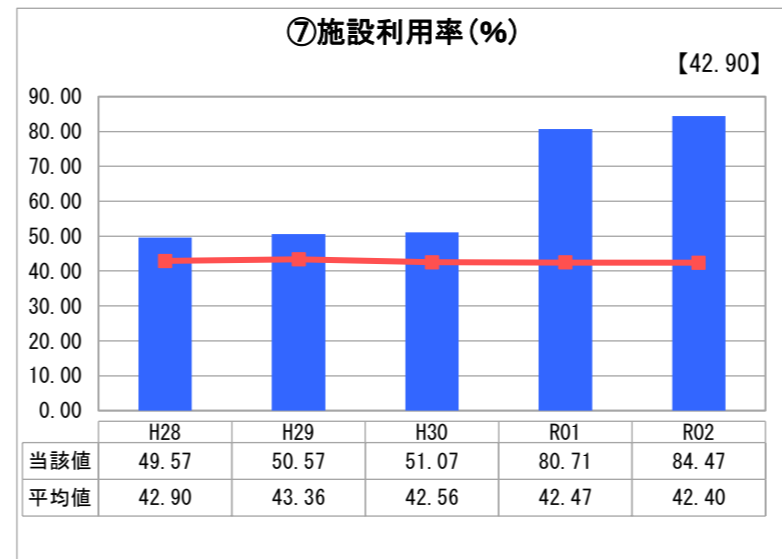
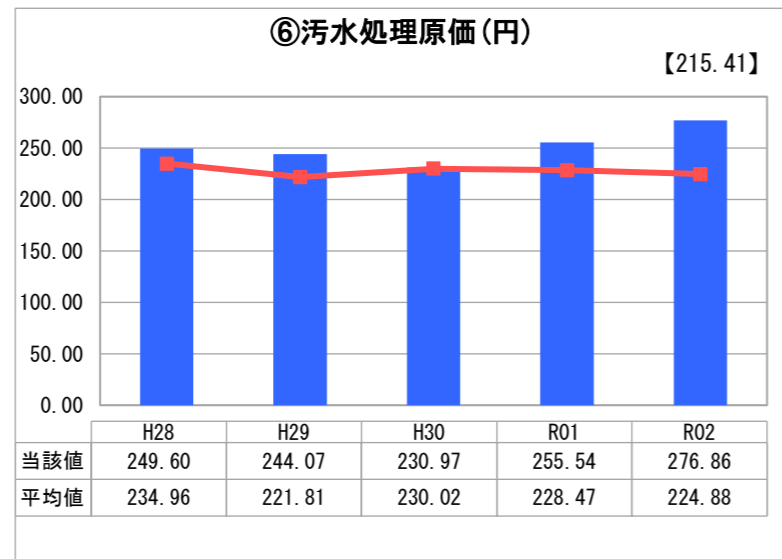
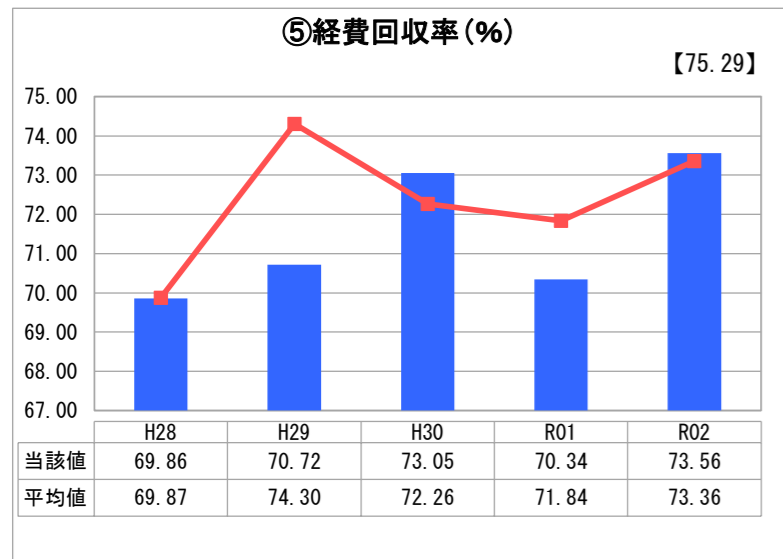
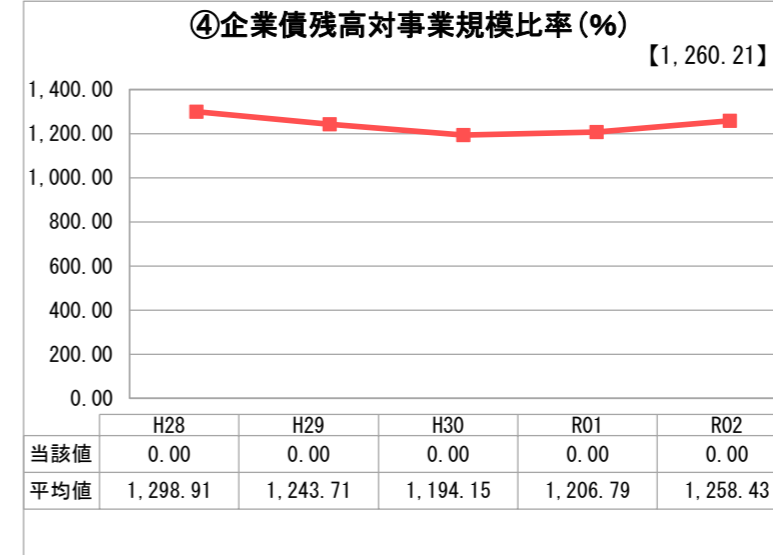
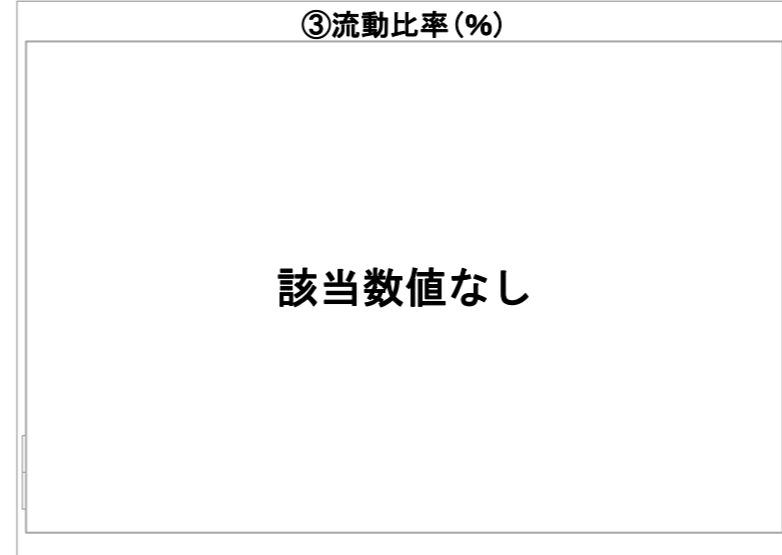
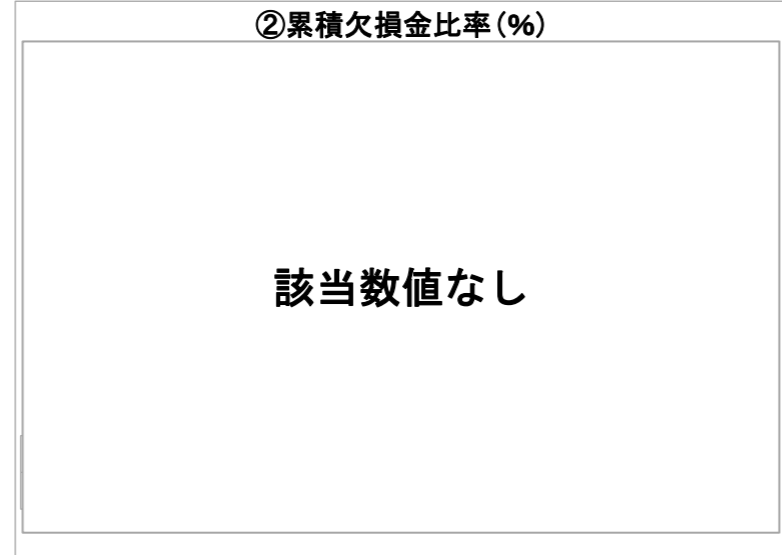
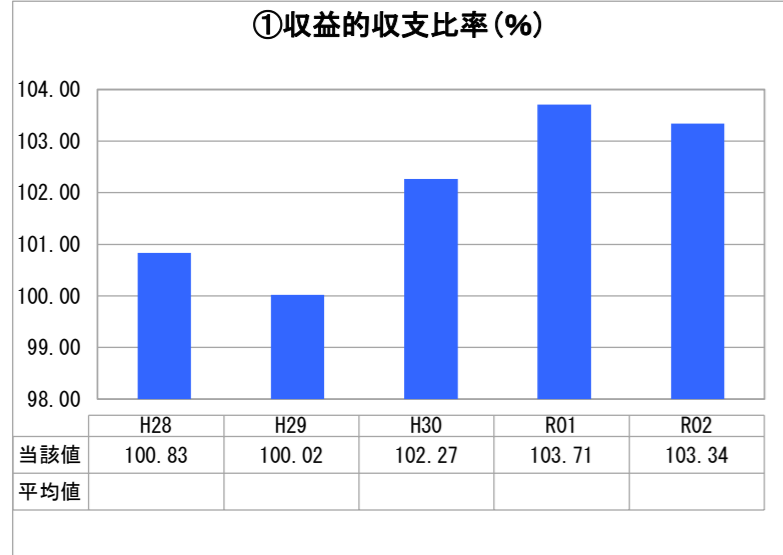
北海道 ニセコ町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	48.84	85.28	3,750

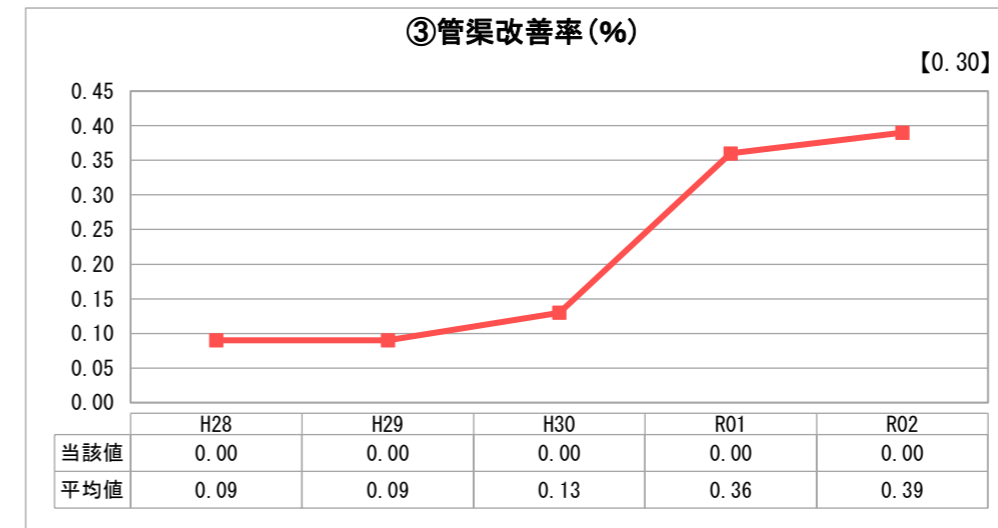
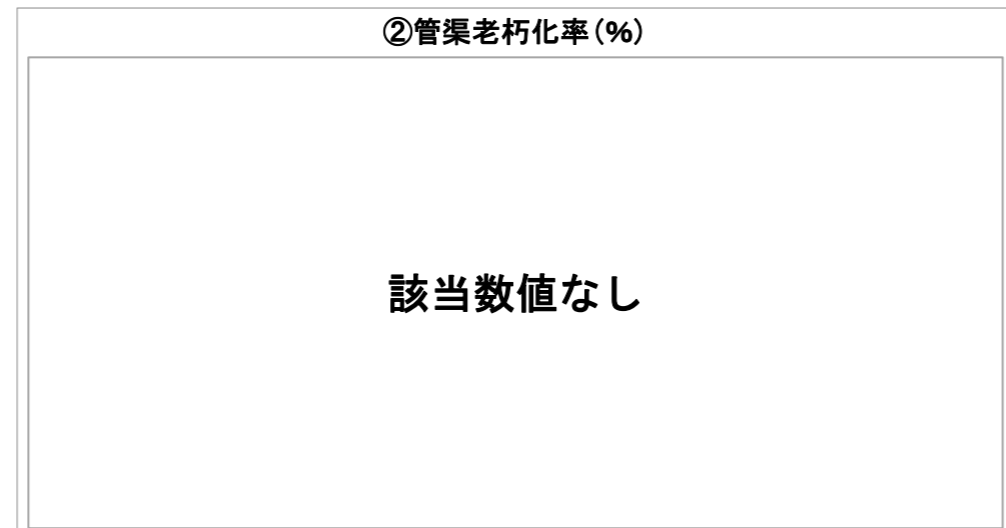
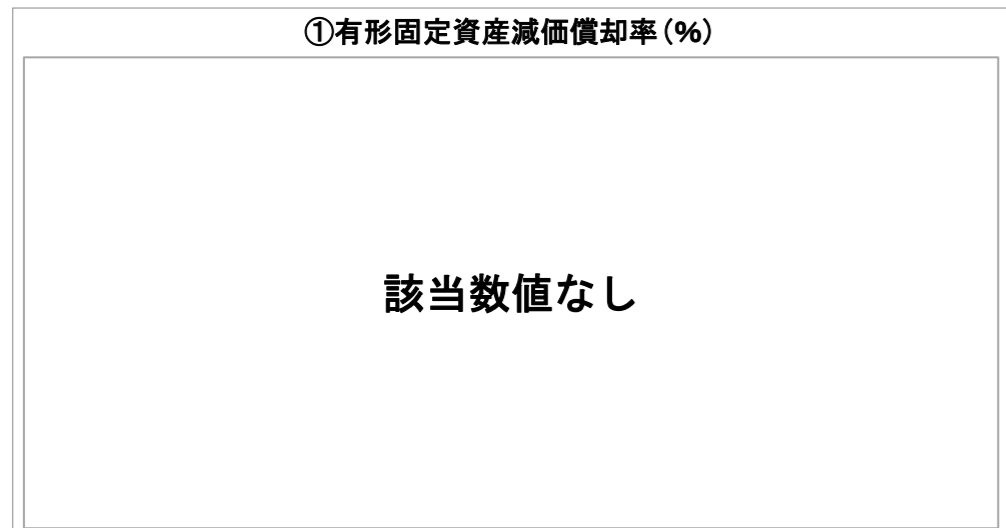
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,996	197.13	25.34
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
2,393	1.14	2,099.12

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[ ]	令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率について、比較的高い比率での傾向が続いている。  
 現状として、類似団体や全国平均に比べ、経費回収率・汚水処理原価ともに平均に近い水準にある。また、供用開始前後の普及対策により、水洗化率も平均以上となっており、比較上では、一定程度経営の効率化が図られているものと考えられる。  
 施設利用率については平均値以上となっているが、国際観光リゾート地を有していることから季節変動の影響も少なからずあることに留意する必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

供用開始してから20年が経過し、下水道施設のストックマネジメント計画の策定を進めており、順次、電気設備・機械設備と計画的に更新を進める予定としている。  
 管渠については当面問題ないと考えているが、管渠清掃やマンホール補修など適正な維持管理に努めていく。

### 全体総括

事業としての規模、諸条件（処理区域内人口、人口密度、地理的条件など）を考慮しつつ、各種指標においては他団体比較から一定の経営効率化が伺える。  
 それでも、企業会計としては基準内繰入も含め一般会計からの繰入に多くを依存している状況にあり、より一層の経営の健全性や効率化の取り組みが求められる。  
 また、簡易水道事業と比べると新しい事業ではあるが、今後は徐々に各種施設が更新期を迎えることから、長期的な視点により老朽化・長寿命化対策を図っていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。